

府立松原高等学校 「学校運営協議会」報告書(第2回)

日時	令和4年 11月 18日(金) 10:40~12:30			
出席者	運営協議会委員	職名等	学校事務局	校務分掌等
	房本 晃	(福)バオバブ福社会理事	島津 邦廣	校長
	野崎 龍介	松原市立松原第三中学校長	麦田 伸一	教頭
	菊地 栄治	早稲田大学教授	中川 泰輔	首席・1学年代表
	坂井 啓祐	四天王寺大学教授	山口 裕子	人権教育主担
	野崎 和枝	本校PTA会長	眞杉 凌	人権教育主担
	教職員等			
	小林 美由里(1学年) 関戸 利洋(1学年) 山本 杏寿(1学年) 亀田 恵美(2学年代表) 市橋 菜津美(2学年) 太口 雅之(2学年) 荻野 敦紀(3学年) 後和 伸之介(3学年) 田中 大樹(3学年) 山下 剛史(3学年)			
	今年度の方針と計画			
主なテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業視察 ・「産業社会と人間」、「課題研究」進捗報告 			
協議内容の概略	<p>産業社会と人間では、後期に入ってジャンル別テーマ学習を進めている。上旬に「リサーチデー」として、テーマごとの専門家やNPO 法人を訪問し、注目されている話題や現状についてお話を伺ったり、フィールドワークに出かけたりして学んできた。</p> <p>その振り返りを通して、グループで課題解決のための企画を提案したり、課題を広く伝えるための発表を工夫している。</p> <p>「思いやろうや、お互いに」ジャンルでは、社会福祉法人を訪れて、バリアの種類や障害モデルの変遷(医学→社会)を知り、誰もがお互いに思いやりを持って接し、自分らしく生きていける環境にするためにできることを考えている。あるハンデは、松原高校の中間の会を中心テーマにして、自立支援コース生が居心地よくいられるためのアイデアの発表準備をしている。</p>			
提言内容・改善方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習の様子がよくわかった。 ・自立支援生の願いや希望がどのように大切にされていくか、本番の発表への関心が高まる。 ・教員が、発表の準備にどのようにかかわるかが大きなポイントになる。生徒の主体的な学び変容は、見ているだけでは起きない。生徒たちのかかわりの中で、障がいのある生徒が役割を持って参加できているか、常に観察し、フィードバックする必要がある。 			